FMV BIBLO LOOX

B5FJ-4931-02

U50X/V, U50XN, U50XNX

取扱説明書

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

目　次

FUJITSU

マニュアルのご紹介

■添付の紙マニュアル

『箱の中身を確認してください』

添付の機器、マニュアル、CD などの一覧です。
ご購入後、すぐに、添付品が揃っているか確認してください。

『取扱説明書』（本書）



使用上のご注意、パソコンを使うための準備、
ご購入時の状態に戻す方法などを説明しています。

『サポート＆サービスのご案内』



ユーザー登録のしかた、お問い合わせのしかたについて説明しています。

■電子マニュアル

□『製品ガイド』　PDF形式

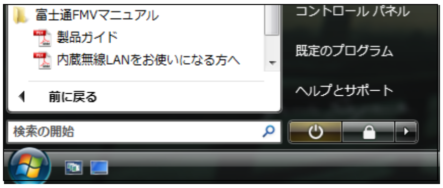


本体各部の名称と働き、機器の取り付けや取り扱いなどを説明しています。

□『内蔵無線 LAN をお使いになる方へ』　PDF形式

●「スタート」ボタンからご覧ください

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通 FMV マニュアル」の順にクリックし、ご覧になりたいマニュアルをクリックします。



このパソコンをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

・ 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
・ 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
・ 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
・ 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
・ 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、CD/DVD などの媒体にバックアップをお取りください。
・ 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 6 年です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
（1） 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
（2） 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 壁紙の使用条件
お客様は、「ＦＭＶ」ロゴ入りの壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
8. 保証の範囲
（1） 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
（2） 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
（3） 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
9. ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
記
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（http://www.microsoft.com/japan/）。
お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。
したがいまして、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。
ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合もありますので、ご利用前にはサービスパックの「Readme.txt」を必ずご確認ください。
また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付品は大切に保管してください

ディスクやマニュアル等の添付品は、本製品をご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

- 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。
  なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1 日約 8 時間のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞
CRT、LCD、ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CD/DVD ドライブ、
光磁気ディスクドライブ、スマートカードリーダ／ライタ、キーボード、マウス、AC アダプタ、
電源ユニット、ファン

消耗品について

- バッテリパックや乾電池等の消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

24 時間以上の連続使用について

- 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

注 意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

無線 LAN について（無線 LAN（IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠）搭載機種の場合）

2.4 DS/OF 4

- 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式としては DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
  (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
  (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
  連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」
- 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠（5GHz 帯）では見通し半径 15m 以内、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（2.4GHz 帯）では見通し半径 25m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- 本製品に内蔵の無線 LAN を IEEE802.11a（J52/W52/W53/W56）準拠（5GHz 帯）でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
また、バッテリ残量が不充分な場合、バッテリ未搭載で AC アダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため不都合が生じることがあります。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本パソコンにおける特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
http://www.fmworld.net/fmv/jmoss/

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットの発展によって、世界中の人とメールのやりとりをしたり、個人や企業が提供しているインターネット上のサイトを活用したりすることが容易になっており、それに伴い、青少年の教育にもインターネットの利用は欠かせなくなっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害な情報などを掲載した好ましくないサイトも存在しています。
特に、下記のようなインターネット上のサイトでは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

サイトの内容が青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。
有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信側で有害サイトの閲覧を制御する技術で、100% 万全ではありませんが、多くの有害サイトへのアクセスを自動的に制限できる有効な手段です。特に青少年のお子様がいらっしゃるご家庭では、「フィルタリング」を活用されることをおすすめします。

「フィルタリング」を利用するためには、一般に下記の 2 つの方法があります。
「フィルタリング」はお客様個人の責任でご利用ください。

1. パソコンにフィルタリングの機能を持つソフトウェアをインストールする。
2. インターネット事業者のフィルタリングサービスを利用する。

FMV-BIBLO シリーズには、「i- フィルター」が用意されています。
ご利用期間 30 日間の体験版となっていますので、まだご利用でないお客様は、ぜひお試しください。
これらのソフトウェアのインストール方法やご利用方法については、それぞれのソフトウェアの説明書またはヘルプをご確認ください。
利用開始から 30 日間を超えてご利用になる場合は、継続利用の登録（有償）を行うか、市販のフィルタリングソフトウェアをご購入の上、ご利用ください。
なお、ソフトウェアやサービスによっては、「フィルタリング」機能を「有害サイトブロック」、「有害サイト遮断」、「Web フィルタ」、「インターネット利用管理」などと表現している場合があります。あらかじめ機能をご確認の上、ご利用されることをおすすめします。

［参考情報］

- 社団法人 電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料
  「パソコン・サポートとつきあう方法」
- デジタルアーツ株式会社 （i- フィルター提供会社）
  「フィルタリングとは - 家庭向けケーススタディー」

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⃠	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
●	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

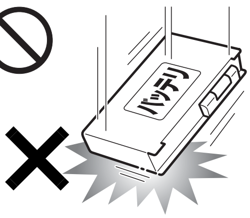
安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。

また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■バッテリパック

⚠危険



バッテリパックには以下のことをしないでください。

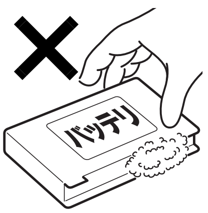
破裂・液漏れ・火災・けが・周囲を汚す原因となります。

・ショートさせる
・加熱したり、火の中に入れる
・端子部分をぬらしたり、水の中に入れる
・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与える
・分解や改造
・火のそばや炎天下などで充電したり、放置する
・金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に携帯、保管する
・熱器具に近づける
・指定された充電方法以外で充電する

必ず本製品に添付のバッテリパックを使用してください。寿命などでバッテリパックを交換する場合は、必ず指定品を使用してください。

指定以外のバッテリパックは、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。

⚠警告



バッテリパックが液漏れし、漏れ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因となります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。

皮膚に障害を起こす原因となります。

■パソコン本体、ＡＣアダプタ

⚠警告

本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。

発煙・発火・破裂の原因になります。



本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着している場合は、バッテリパックも取り外してください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

パソコン本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着している場合は、バッテリパックも取り外してください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

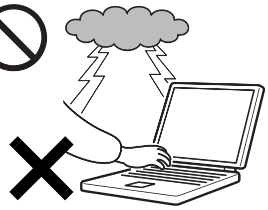
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



本製品を落としたり、カバーなどを破損した場合は、パソコン本体の電源を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着している場合は、バッテリパックも取り外してください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



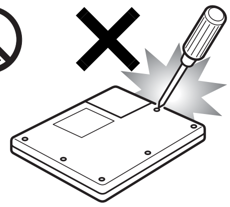
雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による感電、火災の原因となります。

各スロットやディスクトレイなどの開口部から、本製品の内部に金属物や紙などの燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。

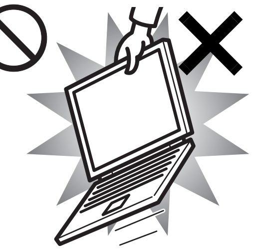
感電・火災の原因となります。



本製品をお客様ご自身で修理・分解・改造しないでください。

感電・火災の原因となります。

修理や点検などが必要な場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。



本装置を持ち上げたり運んだりする場合、液晶ディスプレイや液晶ディスプレイの枠部分を持って、装置を持ち上げたり運んだりしないでください。

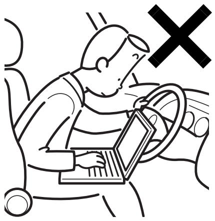
装置の故障やけがの原因となることがあります。

持ち上げたり運んだりするときは、装置の底面あるいは装置中央の両脇を持ってください。

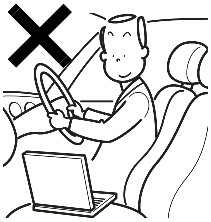


梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。

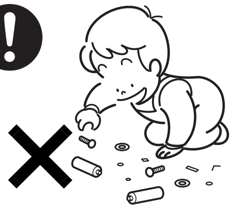
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに止めてからお使いください。

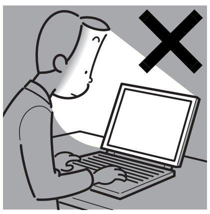


自転車やバイク、自動車などの運転中は、テレビや音楽を視聴しないでください。
周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ交通事故の原因になります。また、歩行中でも周囲の交通に充分に注意してください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。



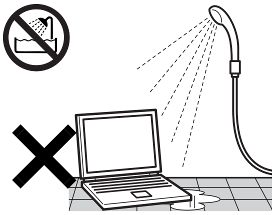
取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

パソコン本体やACアダプタの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。また、お子様が排気孔付近に近寄らないよう注意してください。
低温やけどの原因になります。

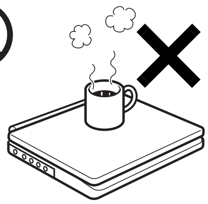


本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

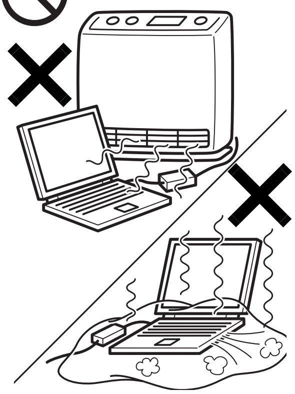
本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。



本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。



使用中のパソコン本体やACアダプタは、ふとんなどをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置いたりしないでください。また、排気孔などの開口部がある場合はふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用AC電源等）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。

添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源コードを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源コードを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となることがあります。

本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内など、温度が高くなるところで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

排気孔付近に触れないでください。また、排気孔からの送風に長時間あたらないでください。
火傷の原因となることがあります。

振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が落ちて、けがの原因となります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩時間の間の小休止を取るようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の健康障害の原因となることがあります。

- 画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- 背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- 手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

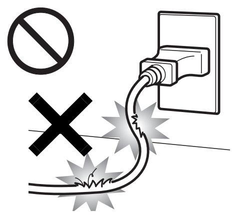
本製品またはバッテリパックの廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規制を受けます。
本製品はリチウム電池を、バッテリパックはリチウムイオン電池を使用しており、一般のゴミと一緒に火中に投じられると破裂のおそれがあります。

本製品を移動する場合は、必ず AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続されたケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。
AC アダプタの電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

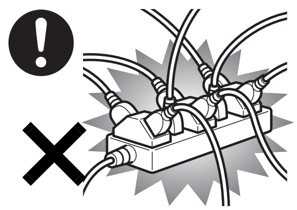
液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒のおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

■電源コード

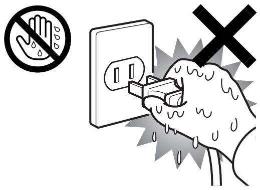
⚠ 警告



ACアダプタの本体やケーブル、電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

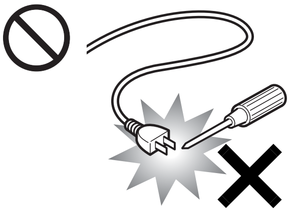


ACアダプタの電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実にさし込んでください。また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



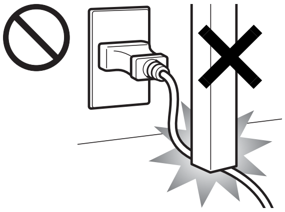
ぬれた手で AC アダプタの電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



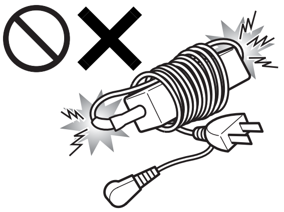
ACアダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

火災・感電の原因となります。



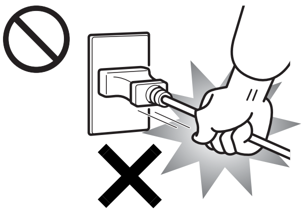
AC アダプタのケーブルは、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

感電・火災の原因となります。



ACアダプタ本体に電源コードをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。

電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となります。



ACアダプタの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードや電源プラグが傷つき、感電・火災の原因となります。



ACアダプタや電源プラグはコンセントからときどき抜いて、コンセントとの接続部分およびACアダプタと電源コードの接続部分などのほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因になります。1年に一度は点検清掃してください。

⚠ 注意

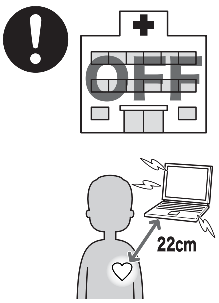


本製品を長期間使用しないときは、安全のため AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、パソコン本体から AC アダプタを取り外してください。バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも取り外してください。

火災の原因となることがあります。

■無線について

⚠ 警告



無線LANの注意（搭載機種のみ）

次の場所では、パソコン本体の電源を切るか、無線通信機能をオフにしてください。

無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- 病院内や医療用電子機器のある場所。
  特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- 航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- 自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- 満員電車の中など付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がある場所

心臓ペースメーカーの装着部位からは22cm以上離してください。

電波によりペースメーカーの動作に影響を及ぼす原因となります。

■ヘッドホン

⚠注意

ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

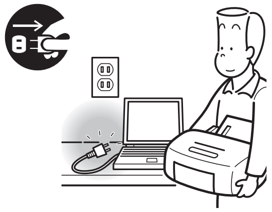
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

■周辺機器

⚠警告



本製品を設置したり、周辺機器の取り付け／取り外しを行うときは、本製品や周辺機器の電源を切った状態で行ってください。

AC アダプタや電源コードがコンセントにつながっている場合は、それらをコンセントから抜いてください。

感電の原因となります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

■レーザーの安全性について

□CD/DVD ドライブの注意

CD/DVD ドライブは、レーザーを使用しています。

□クラス 1 レーザー製品

CD/DVDドライブは、クラス1レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR ）Subchapter Jに準拠しています。

また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN 60825-1）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

⚠警告

CD/DVD ドライブは、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

・ 光源部を見ないでください。

CD/DVDドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。

また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線を覗きこまないでください。

レーザー光線が直接目に照射されると、視力障害の原因となります。

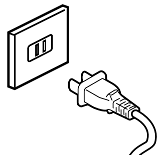
・ お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。

レーザー光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因となります。

本書の表記

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本パソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。



接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【Fn】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：【Fn】＋【↑】キーなど

■コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy  a:  a:
         ↑   ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを 1 回押してください。
  また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- DVD のドライブ名を、［DVD ドライブ］または［CD/DVD ドライブ］と表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

  例：[CD/DVD ドライブ]:¥setup.exe

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作
↓
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「－」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。また、設定値を「：」（コロン）の後に記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「言語（Language）」の項目を「日本語（JP）」に設定します。
↓
「メイン」－「言語（Language）」：日本語（JP）

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記		
FMV-BIBLO LOOX U50X/V, U50XN, U50XNX	本パソコン／パソコン本体		
Windows Vista® Home Premium	Windows Vista Home Premium	Windows Vista	Windows
Microsoft® Office Personal 2007	Office Personal 2007		

■お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2007 年 11 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください（→「お問い合わせ先について」）。

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

ユーザー登録について

本製品のユーザー登録は、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Aero、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

1. 必ずお読みください

疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いの際は姿勢や環境に注意し、疲れにくい状態で操作しましょう。

●ブラインドやカーテンで、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないようにする。
●作業中は、1 時間に 10 分～ 15 分程度の休憩をとる。
●肘かけや背もたれのついた椅子を使用し、座面の高さを調節する。
●パソコンの周りや足元には、充分なスペースを確保する。

使用上のお願い

パソコンは精密機器です。設置場所と使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法をを誤ると故障や機能低下、破損の原因となることがあります。
内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

パソコン本体の使用環境

●パソコン本体の使用環境は、温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80 %RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です。動作時、非動作時に関わらず、結露しないようにご注意ください。
結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
●パソコン本体のそばで喫煙すると、タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性があります。
●腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所で使用すると、パソコン本体が腐食する可能性があります。
●パソコン本体には静電気に弱い部品が使用されています。静電気の発生しやすい場所では使用しないでください。また、使用する前には金属質のものに触れて、静電気を逃がしてください。
●パソコン本体および AC アダプタは堅い机の上などに置くようにしてください。ふとんの上など熱がこもりやすい場所に置くと、パソコンや AC アダプタ表面が高温になることがあります。
●パソコンおよび AC アダプタは、使用中に熱を持つことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがあります。ご注意ください。
●電源が入っているときは、キーボードの上に書類などのおおいかぶさる物を置かないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因になります。
●ほこりの多い環境では使用しないでください。ファンにほこりが詰まり、放熱が妨げられ、故障の原因となる場合があります。
●吸気孔や通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性があります。定期的にほこりなどを取り除いてください。
●吸気孔や排気孔をふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
●排気孔の近くに物を置いたり、排気孔の近くには手を触れないでください。排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物や手が熱くなることがあります。

パソコン本体取り扱い上の注意

●衝撃や振動を与えないでください。
●操作に必要のない部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
●マニュアルに記述されているところ以外は絶対に開けないでください。
●電源が入っているときに液晶ディスプレイを閉じてもスリープや休止状態にしない設定にした場合は、パソコン本体の液晶ディスプレイを閉じないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因となることがあります。
●磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものをパソコン本体や画面に近づけないでください。画面が表示されなくなるなどの故障の原因となったり、保存しているデータが消えてしまうおそれがあります。
●水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。故障の原因になる可能性があります。
●パソコン本体を立てたり傾けて置かないでください。パソコン本体が倒れて、故障の原因となることがあります。
●パソコン本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

パソコンの温度上昇に関して

●長時間使用すると、パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じることがありますが、故障ではありません。
これは、パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するので、キーボードなどの表面も温かくなるためです。

●ひざの上など直接肌に触れた状態では、長時間使用しないでください。パソコンの底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。

パソコン内部からの音に関して

●パソコン本体内部からは、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音や、ハードディスクドライブがデータを書き込む音などが聞こえることがあります。これらは故障ではありません。

パソコンを持ち運ぶ場合の注意

●必ずパソコンの電源を切ってください。電源が入ったままや、スリープのまま持ち運ばないでください。また、電源を切ってから動かす場合も、5 秒ほど待ってから動かしてください。衝撃によりハードディスクドライブが故障する原因となります。

●液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体に接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。

●パソコン本体を持ち上げたり移動させたりするときは、両手でつかんでください。

●パソコン本体や AC アダプタを運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。

●パソコン本体をかばんなどに入れて持ち運ぶ場合には、次のような点に注意してください。

・パソコン本体の背面を下側にして、かばんなどに入れてください。また、AC アダプタをいっしょに入れて持ち運ぶと、AC アダプタでパソコン本体を傷つけたり、破損したりするおそれがあります。

・ワイヤレススイッチは、かばんなどにいっしょに入れたものが触れて、切り替わってしまうことがあります。電波を発信してはいけない場所に移動する場合は特にご注意ください。

●パソコン本体に SD メモリーカードなどのメモリーカードをセットしている場合は、必ず取り外してください。

液晶ディスプレイの取り扱い上の注意

●液晶ディスプレイの開閉は、衝撃を与えないようにゆっくりと行ってください。

●液晶ディスプレイを開くときは、無理に大きく開けないでください。

●液晶ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。また、ひっかいたり先のとがったもので押したりしないでください。

●液晶ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。

●液晶ディスプレイを開いたまま、パソコン本体を裏返して置かないでください。

●液晶ディスプレイとキーボードの間に、物をはさまないでください。

液晶ディスプレイのお手入れ

●液晶ディスプレイの汚れは、乾いた柔らかい布かメガネ拭きで軽く拭き取ってください。

●液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。
液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。

●液晶部分を拭くときは、必ずから拭きをしてください。
水や中性洗剤を使うと、液晶部分を傷めるおそれがあります。

●化学ぞうきんや市販クリーナーは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。

・アルカリ性成分を含んだもの
・界面活性剤を含んだもの
・アルコール成分を含んだもの
・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
・研磨剤を含むもの

雷についての注意

雷が鳴り出した時は、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。

また、安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、テレビのアンテナ線、外部機器との接続ケーブル、電話線（モジュラーケーブル）、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもパソコン本体を保護できないことがありますので、ご了承ください。
場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

パスワードの取り扱いについて

- BIOS のパスワードや Windows のパスワードを設定するときは、設定したパスワードを忘れないよう注意してください。パスワードを忘れると、パソコンが使えなくなり修理が必要となります。

電源を入れる

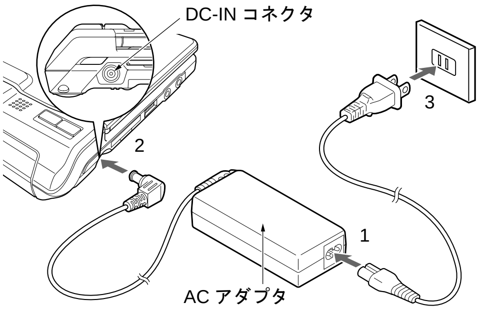
注意事項

- ご購入後、初めて電源を入れる場合は、周辺機器の取り付けなどは行わないでください。
- 電源を入れて本製品が起動するまでは、むやみにキーボードやスティックポイントに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。
- 電源を入れてから、持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。
- 電源を入れても画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。
  - 電源ランプが点灯しているか確認してください。点灯している場合は、キーボードかポインティングデバイスに触れてください。また、【Fn】+【D】キーを押して、明るさを調整してください。点滅している場合は、電源スイッチをスライドさせて動作状態にしてください。消灯している場合は、電源を入れてください。
  - バッテリ運用している場合は、状態表示 LED のバッテリ残量表示を確認してください。本パソコンご購入時やバッテリが充電されていない場合は、AC アダプタを接続してください。

電源の入れ方

1 **AC アダプタを接続します。**

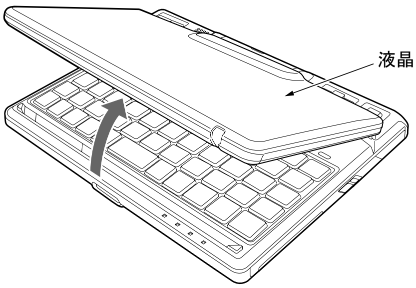
AC アダプタに AC ケーブルを接続し（1）、パソコン本体の DC-IN コネクタに接続します（2）。その後、プラグをコンセントに接続します（3）。



（これ以降のイラストは機種により異なります）

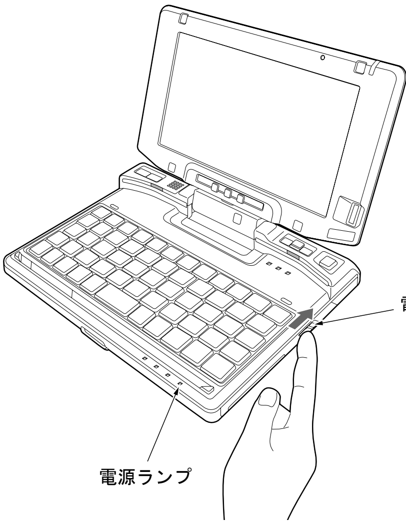
2 **液晶ディスプレイを開きます。**

液晶ディスプレイ上部の中央に手を添えて持ち上げます。



3 **電源スイッチをスライドさせます。**

電源ランプなどが点灯します。
ご購入後、初めて電源を入れると、Windows のセットアップ画面が表示されます。その場合は、「セットアップ」（→ P.17）をご覧になり、操作を続けてください。



セットアップ

初めて電源を入れた後に行うWindowsの初期設定（Windowsセットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

次の「注意事項」をよくお読みになり、電源を入れてWindowsセットアップを始めます。

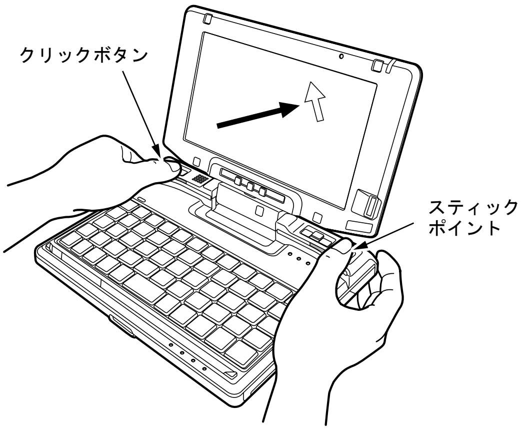
注意事項

- Windowsセットアップを行う前は、次の点にご注意ください。
  - ・周辺機器を取り付けないでください。
  - ・LANケーブルを接続しないでください。

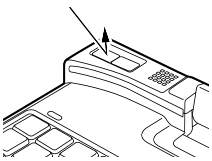
  Windowsセットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。
  上記の項目は、Windowsセットアップが完了してから行ってください。
- Windowsセットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windowsセットアップが完全に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、キーまたはポインティングデバイスで操作してください。
- セットアップ中は、不用意に電源を切らないでください。
- Windowsセットアップが進められなくなったときは、「セットアップで困ったときは」（→P.18）をご覧ください。

スティックポイントの使い方

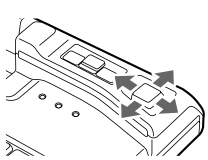
セットアップでは、スティックポイントを使用します。本体右上のスティックポイントでマウスポインタを移動させ、本体左上のクリックボタンでクリック操作を行います。



・クリック



・ポインタ移動



Windows セットアップ

1 **ACアダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます（→P.16）。**

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

POINT

▶ **「Windowsのセットアップ」画面が表示される間、画面が黒くなったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。**

2 **設定は変更せず、「次へ」をクリックします。**

「ライセンス条項をお読みになってください」が表示されます。
「ライセンス条項」は、本パソコンにあらかじめインストールされているWindowsを使用するうえでの契約を記述したものです。

重 要

▶ **次の設定のままお使いください。**
- ・「国または地域」：日本
- ・「時刻と通貨の形式」：日本語（日本）
- ・「キーボードレイアウト」：Microsoft IME

3 **「ライセンス条項」をよく読み、2ヶ所の「ライセンス条項に同意します」にチェックをつけて、「次へ」をクリックします。**

「ユーザー名と画像の選択」が表示されます。

4 **ユーザー名と必要に応じてパスワードを入力し、お好みの画像を選択して、「次へ」をクリックします。**

「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」と表示されます。

POINT

▶ **ユーザー名とパスワードは、半角英数字（a～z、A～Z、0～9）で入力します（%などの記号は入力しないでください）。半角英数字（a～z、A～Z、0～9）で入力しないと、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。**

▶ **パスワードでは大文字／小文字が区別されます。**

5 お好みのデスクトップの背景を選択し、「次へ」をクリックします。

「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」と表示されます。

POINT

- コンピュータ名は、ここでは変更しません。セットアップ完了後に変更してください。

6 「推奨設定を使用します」をクリックします。

「ありがとうございます」と表示されます。

7 「開始」をクリックします。

そのまましばらくお待ちください。

手順 4 でパスワードを設定した場合、パスワード入力画面が表示されます。

8 手順 4 で入力したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

POINT

- 画面右下の通知領域に警告が表示される場合があります。これは、ウイルス対策ソフトをインストールし、パターンファイルを最新の状態にすることで表示されなくなります。
  ウイルス対策ソフトのインストールは、Windows セットアップが完了後、「セットアップ後」（→ P.18）をご覧になり行ってください。

9 表示されている「必ず実行してください」ウィンドウを確認し、「実行する」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

10 「続行」をクリックします。

パソコンの初期設定が始まります。そのまましばらくお待ちください。

11 ハードウェア診断が始まります。「保証期間表示」の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

重要

- 「診断センターにお問い合わせください」の画面が表示された場合
  画面の指示に従ってください。

12 保証開始日を示した画面が表示されます。

この保証開始日を保証書に書き写してください。保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります（なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります。保証書自体は大切に保管ください）。

保証書への書き写しが終わったら次の手順に進みます。

13 「閉じる」をクリックします。

14 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。

もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。

15 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。

16 手順 4 でパスワードを設定した場合は、そのパスワードを入力し、「→」をクリックします。

これで、Windows セットアップが完了しました。

この後は、「セットアップ後」（→ P.18）をご覧になり、必要な操作を行ってください。

セットアップ後

セットアップが終わったら、パソコンを使い始める前に、次の操作を行ってください。

■セキュリティ対策

ウイルス対策や不正アクセスに関する対策など、お使いのパソコンについてのセキュリティ対策は、お客様自身が責任をもって行ってください。

詳しくは、『製品ガイド』（PDF）の「セキュリティ」をご覧ください。

セットアップで困ったときは

セットアップ中に動かなくなった、など困ったことがあったときには、次の項目をご覧ください。

□Windows セットアップが進められなくなった

- 電源スイッチを 4 秒以上スライドし続けて、本パソコンの電源を一度切り、後でセットアップをやり直してください。
- 途中で電源を切ると、次に電源を入れたときに再起動を繰り返したり、「システムのインストールが完全ではありません」などのメッセージが表示され、Windows が起動しなくなることがあります。この場合は、「FUJITSU」のロゴが表示されているときか、またはメッセージが表示されているときに、電源スイッチを 4 秒以上スライドし続けて強制的に電源を切り、リカバリ操作を行ってください。

□画面が見にくい

- 液晶ディスプレイの角度を見やすい位置に調節します。
- 次のキーを何度か押して輝度を調節します。
  【Fn】+【S】キーを押すと、表示が暗くなります。
  【Fn】+【D】キーを押すと、表示が明るくなります。

電源を切る

注意事項

- ●電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。
- ●電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。
- ●電源を切る際、ノイズが発生することがあります。その場合は、音量を下げてお使いください。
- ●液晶ディスプレイは静かに閉じてください。
  閉じるときに液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。

電源の切り方

「スタート」ボタン→ の →「シャットダウン」の順にクリックします。Windows が終了し、本パソコンの電源が切れます。また、状態表示 LED の電源ランプが消えます。

POINT

- ▶ 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。
  1. 【Ctrl】+【Alt】+【Fn】+【BS】キーを押します。
  2. 画面右下にある をクリックし、Windows を終了します。

  それでも電源が切れない場合は、電源スイッチを 4 秒以上スライドし続けて強制的に電源を切ってください。
- ▶「再起動」をクリックすると、本パソコンを再起動することができます。再起動とは、メモリに入っている情報をいったん消して、再びフロッピーディスクやハードディスクなどから OS を読み込み直すことです。
- ▶「スリープ」または「休止状態」をクリックすると、本パソコンが省電力状態になります。詳しくは、『製品ガイド』（PDF）をご覧ください。
- ▶ この後、本パソコンを長期間使用しない場合は、AC アダプタやバッテリパックを取り外してください。

2. 必要に応じてお読みください

指紋認証について

指紋認証とは

ユーザー名やパスワードの入力を省略し、指紋センサーに指をスライドさせるだけで次のようなことができます。

- ●Windows のログオン
  Windowsのユーザーアカウントにログオンパスワードを設定しておくと、そのパスワードを知っている人以外はそのアカウントでWindowsにログオンすることができなくなります。しかしこの場合、Windows にログオンするたびにパスワードの入力をしなければなりません。
  指紋認証を使えば、あらかじめ登録した指紋を認証させるだけで Windows にログオンすることができるので、パスワードの入力を省略することができます。
- ●省電力状態からの復帰
  省電力状態からパソコンが復帰するときにパスワードを設定しておくとセキュリティの向上に役立ちますが、パソコンが省電力状態から復帰するたびにパスワードの入力をしなければなりません。
  指紋認証を使えば、あらかじめ登録した指紋を認証させるだけで省電力状態からの復帰が完了するので、パスワードの入力を省略することができます。
- ●パスワードが設定されたスクリーンセーバーの解除
  スクリーンセーバーを解除する時にパスワードを設定しておくとセキュリティの向上に役立ちますが、スクリーンセーバーを解除するたびにパスワードの入力をしなければなりません。
  指紋認証を使えば、あらかじめ登録した指紋を認証させるだけでスクリーンセーバーを解除できるので、パスワードの入力を省略することができます。
- ●ID（ユーザー名）やパスワードを必要とするホームページへのログイン
  セキュリティが設定されたホームページにログインするために、ID（ユーザー名）やパスワードなどのログイン情報を入力しなければならない場合があります。
  指紋認証を使えば、特定のホームページに対してあらかじめログイン情報を記憶させておくことにより、指紋センサーに指をスライドさせるだけでこれらのホームページにログインすることができます。
  ログイン情報を入力する状況はホームページごとに異なり、ログイン情報をホームページ内に直接入力する場合と、入力専用の画面が表示される場合があります。どちらの場合でも指紋認証によるログインを行うことができます。

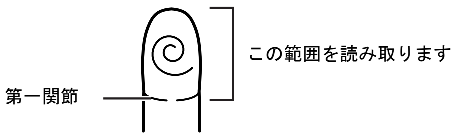
指紋センサーについての注意

- ●次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ・指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりした場合
  - ・指紋センサー表面を爪や硬いもので強く擦り、センサー表面にキズが入った場合
  - ・泥などで汚れた手で指紋センサーに触れ、細かい異物などでセンサー表面にキズが入ったり、表面が汚れたりした場合
  - ・指紋センサーのセンサー部にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりした場合
- ●次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証率が低下したりすることがあります。指紋センサー表面はときどき清掃してください。
  - ・指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
  - ・指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
  - ・指紋センサー表面が結露している
- ●指紋の登録失敗や認証失敗が頻出する場合は、指紋センサー表面の清掃を行ってください。現象が改善されることがあります。
- ●指紋センサーを清掃する際には、メガネ拭きなどの乾いたやわらかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。
- ●指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。静電気が故障の原因となる場合があります。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。
- ●長期間使用することにより、センサー周辺にゴミがたまることがありますが、これらを取り除くときは、先のとがったものを使用しないでください。

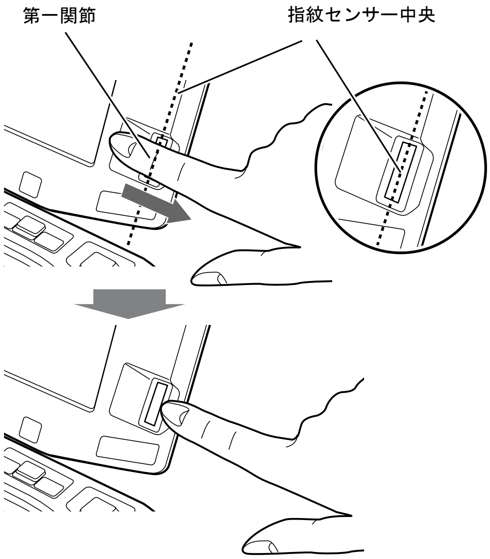
指のスライドのさせ方

指紋の登録や認証を行う場合は、次のように指をスライドさせてください。認証の失敗を減らすことができます。

1 **操作する指の第一関節が、指紋センサーの中央部に当たるように準備します。**
第一関節より先の部分が読み取り範囲となります。

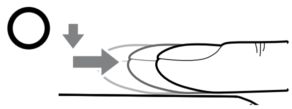


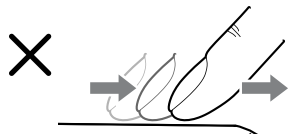
2 **指をまっすぐ伸ばして第一関節を指紋センサーに軽く当てます。**
手全体を引くようにして、センサー部が完全に見えるまで水平にスライドさせます。

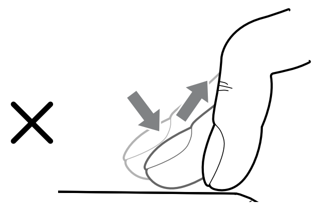


重要

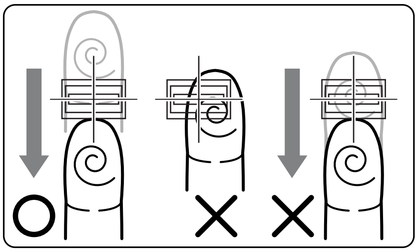
- ▶ **指を突き立てたり、引っかけるようにスライドさせないでください**
指紋センサーに指のはら（指紋の中心部）が接触していなかったり、指を引っかけるようにスライドさせると指紋の読み取りがうまくいかない場合があります。必ず、指のはら（指紋の中心部）が指紋センサーに接触するようにスライドさせてください。







▶ うまく認識されないときは
次の点に気を付けて操作してください。
・指の第一関節より先の部分が、指紋センサー上を通過するようにする
・指紋の渦の中心が、指紋センサーの中心を通過するようにする
・1 秒程度で通過するくらいの速さで、スムーズに動かす



なお、親指など、指紋の渦の中心を合わせにくい指は、うまく認識できないことがあります。その際は、中心を通過させやすい指を登録してください。

▶ 指紋の読み取りがうまくいかない場合
指紋センサーに指をスライドさせるときは、必ず指紋の入力画面の表示を確認し、指紋の入力が可能な状態になってから行ってください。指紋の入力画面が表示される前から指を指紋センサーに置くと、指紋の認証に失敗する場合があります。
また、指のスライドが速すぎたり遅すぎたりした場合にも、正常に認識できないことがあります。画面のメッセージに従って、スライドの速さを調節してください。

指紋を登録する

認証に必要な情報を登録します。

POINT

▶ 指紋の登録本数について
指先の怪我やその他の理由で指紋を認証できなくなった場合に備え、登録時の手順では 2 本分の指紋を登録します。
なお、指紋は最大 10 本分まで追加登録することができます。
「指紋を追加登録する」(→ P.28)

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 登録ウィザード」の順にクリックします。

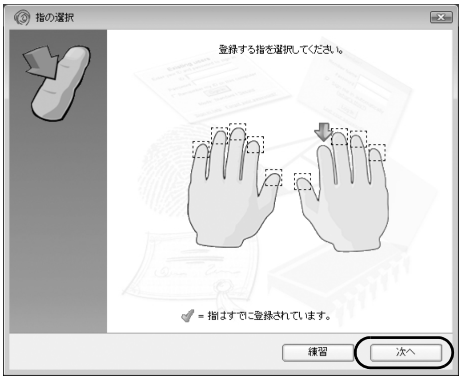
2 「既存の Windows ユーザーの登録」をクリックします。



3 Windows にログオンするときと同じパスワードを「パスワード」に入力し、「次へ」をクリックします。
「ユーザー名」が Windows にログオンするときと同じことを確認してください。



4 認証で使用する指をイラストで選択し、「次へ」をクリックします。



5 指紋センサーに指をスライドさせ、指紋の採取を行います。
指紋が正常に読み取れた場合にはイラストが緑色に、読み取れなかった場合にはイラストが赤色に表示されます。



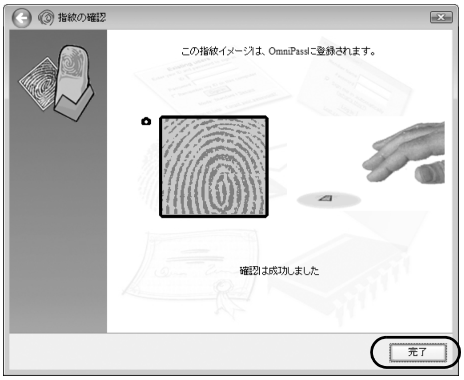
指紋の採取は最低3回行います。指紋を識別するのに充分な情報が採取できたら、「指紋の確認」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 指紋の読み取りがうまくいかない場合
  指紋センサーに指をスライドさせる方法を確認してください。スライドの方法については、「指のスライドのさせ方」（→ P.20）をご覧ください。
- 指紋は正しく登録してください
  指紋の登録が正常に完了しても、不完全な状態で読み取った指紋を登録してしまうと、実際に運用する際の認証率が悪くなってしまう場合があります。指紋を登録するときの認証は、できるだけ次の条件を満たすように行ってください。
  ・読み取り領域の全体に指紋が読み取られている
  ・指紋の渦が画像の中に含まれている
  ・指紋の各方向の線がまんべんなく含まれている

6 もう一度指紋センサーに指をスライドさせ、指紋の確認を行います。

7 「確認は成功しました」と表示されたら、「完了」をクリックします。
確認がうまくいかなかった場合には、をクリックし、もう一度指紋の読み取りを行ってください。



8 「少なくとも2本の指の登録が必要です。引き続き、2本目の指を登録してください。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
「指の選択」ウィンドウが表示されます。

9 もう一度手順4から手順7までの操作を行い、もう1本の指の指紋を登録します。

10 2本目の指の指紋を登録したら、「完了」をクリックします。
「操作が完了するまでお待ちください…」というウィンドウが表示され、登録が完了するとウィンドウが閉じます。

これで指紋の登録は完了です。

複数ユーザーで指紋認証を使う

複数のユーザーが指紋を登録して、指紋認証を使うことができます。Windows のログオンパスワードも同時に設定できます。

新しいユーザーを登録する場合は、管理者権限のユーザーでログオンしている必要があります。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 登録ウィザード」の順にクリックします。

2 「新しい Windows ユーザーの作成と登録」をクリックします。



3 新しく追加するユーザーの名前を「ユーザー名」に、ログオンパスワードを「パスワード」および「パスワードの確認」に入力し、アカウントの種類を選んで「次へ」をクリックします。

ここで入力したユーザー名とパスワードで、新しいユーザーが追加されます。



POINT

- 「アカウント」の種類について
  - 「管理者」
    パソコンの設定を変更したり、新しいソフトウェアをインストールしたりできます。ソフトウェアの使用やファイルの削除などが制限されません。
  - 「標準ユーザー」
    パソコンの設定の変更や、ファイルの参照、システムの重要なファイルの削除が制限されます。また、ソフトウェアのインストールや一部のソフトウェアの使用が制限されます。

4 新しく追加したユーザーの指紋の登録をします。

「指紋を登録する」手順 4（→ P.21）に戻り、指紋の登録をしてください。

指紋認証を使って Windows にログオンする

指紋認証を使うとWindowsログオンパスワードを入力する代わりに、指紋センサーに指をスライドさせるだけでWindowsにログオンできるようになります。

また、複数ユーザーでパソコンを使用している場合には、ユーザー選択も省略することができます。

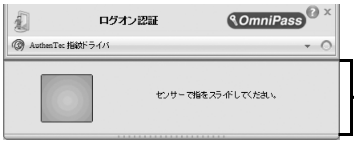
1 電源スイッチをスライドさせて、Windowsを起動します。

Windows が起動すると「ログオン認証」画面が表示されます。

2 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。

指紋の認証に成功すると、Windows にログオンします。

認証画面が表示されていない場合は、▼をクリックして「AuthenTec 指紋ドライバ」を選択し、認証画面を表示させてください。



認証画面

POINT

- 指紋の読み取りがうまくいかない場合
  指紋センサーに指をスライドさせる方法を確認してください。スライドの方法については、「指のスライドのさせ方」（→ P.20）をご覧ください。
- 指紋認証がうまくいかない場合
  ▼をクリックして「マスターパスワード認証」を選択し、Windows のログオンパスワードによる認証を行ってください。
- Windows のログオンパスワードを変更した場合
  Windows のログオンパスワードを変更した場合は、指紋認証時に登録したパスワードも、新しいパスワードに変更する必要があります。
  Windows のログオンパスワードを変更した後に指紋認証を行うと、「OmniPass-Windows パスワードの更新」ウィンドウが表示されますので、「パスワード」および「パスワードの確認」に変更後の Windows のログオンパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

指紋認証をお使いになる場合の注意

- 本機能は画像に含まれる指紋の特徴をもとに照合を行うものです。このため、お客様によっては指紋の特徴情報が少なく、登録操作ができない場合があります。
- 指紋の登録には同一の指で最低3回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行うと、認証できない場合があります。
- 指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証率（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される割合）が低下することがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証時の状況が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけている場合
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている場合
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷、ただれなど）を負っている場合
  - 手が極端に乾燥していたり、乾燥肌の場合
  - 指が泥や油などで汚れている場合
  - 太ったり、やせたりして指紋が変化した場合
  - 磨耗して指紋が薄くなった場合

・指紋登録時に比べ、指紋認証時の指の表面状態が極端に異なる場合
・濡れたり、汗をかいたりしている場合

●センサー表面が濡れていたり結露していたりすると、誤作動の原因となります。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

●認証率はお客様の使用状況により異なります。

●各指で指紋が異なりますので、必ず登録を行った指で認証の操作を行ってください。

●指紋が正常に読み取れなかったときや、一定時間内に認証されなかったときは、警告メッセージが表示されます。

●指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保障するものではありません。当社では本機能を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ホームページのログイン情報を登録する

セキュリティが設定されたホームページにログインするために、ID（ユーザー名）やパスワードなどのログイン情報を入力しなければならない場合があります。
指紋認証を使うと、特定のホームページに対してあらかじめログイン情報を記憶させておくことにより、指紋センサーに指をスライドさせるだけでホームページにログインすることができます。
次の手順でログイン情報を登録してください。

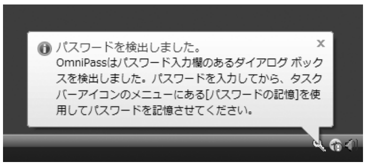
重要

▶ **ホームページの種類によっては、ログイン情報の登録ができない場合があります。**

■ホームページのログイン情報を登録する

1 ログイン情報を登録したいホームページを表示します。

指紋認証を使うためのログイン情報の登録ができるホームページでは、画面右下の通知領域に次のようなポップアップが表示されます。



2 ログイン情報を入力します。

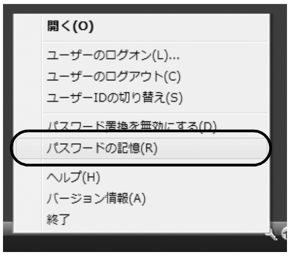
・ホームページに直接入力するページの場合
「ログイン」などのボタンは押さないでください。



・ログイン情報の入力専用画面が表示される場合
「OK」ボタンは押さないでください。



3 画面右下の通知領域にあるOmniPassアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「パスワードの記憶」をクリックします。



マウスポインタが に変わります。

4 に変わったマウスポインタで、手順2で入力したログイン情報の領域をクリックします。

「OmniPass - 覚えやすい名前」ウィンドウが表示されます。

・ホームページに直接入力するページの場合
ユーザー名やパスワードを入力した領域をクリックします。



・ログイン情報の入力専用画面が表示される場合
入力画面をクリックします。



・「OmniPass- パスワードの記憶エラー」ウィンドウが表示された場合

・「OK」をクリックした場合、手順 2（→ P.24）からやり直してください。

・「パスワードウィザードの実行」をクリックした場合、「パスワードウィザードでログイン情報を登録する」の手順 3（→ P.25）からご覧ください。

5 「OmniPass - 覚えやすい名前」ウィンドウで、ログイン情報の名前を入力します。

6 「完了」をクリックします。

ログイン情報の登録が完了しました。ここで設定したホームページは、ユーザー名やパスワードを入力しなくても、登録済みの指紋を認証させるだけでログインできます。

■パスワードウィザードでログイン情報を登録する

ここではパスワードウィザードでの登録方法について説明をします。
パスワードウィザードはログイン情報の入力専用画面が表示された場合に使うことができます。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass コントロールセンター」の順にクリックします。

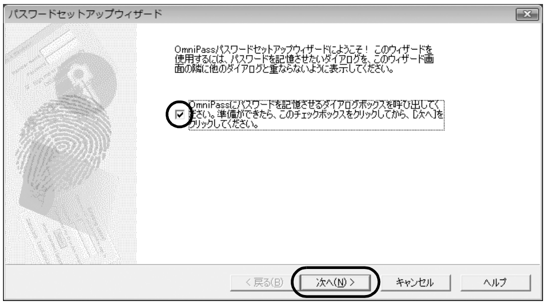
「OmniPass コントロールセンター」ウィンドウが表示されます。

2 「アクション」の「パスワードウィザード」をクリックします。

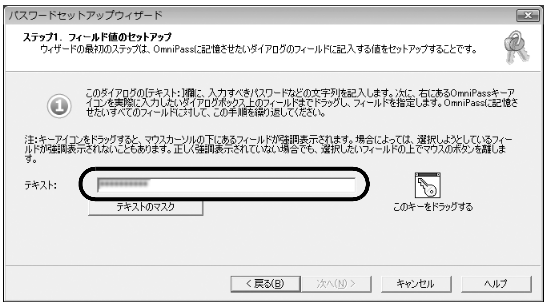


「パスワードセットアップウィザード」が表示されます。

3 「OmniPass にパスワードを記憶させる…」の左の☐を☑にして、「次へ」をクリックします。

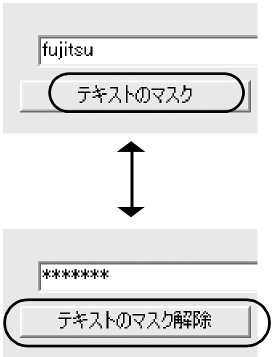


4 「テキスト」にログインさせたい ID（ユーザー名）を入力します。

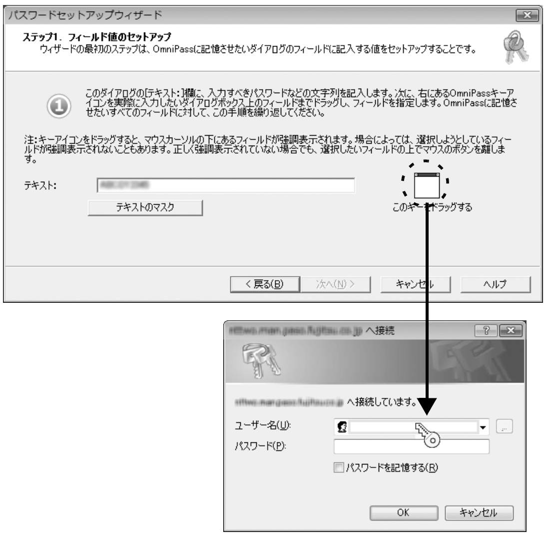


POINT

- 「テキストのマスク」をクリックすると入力中の文字が「******」に変わり、ID（ユーザー名）やパスワードを第三者に見られることなく入力することができます。
「テキストのマスク解除」をクリックすると「******」が元に戻り、入力中の文字を確認できます。



5 マウスポインタを に合わせ、左ボタンをクリックしたまま（押したまま）ログイン情報の入力専用画面の入力箇所まで移動し、青枠が表示されたら左ボタンを離します。

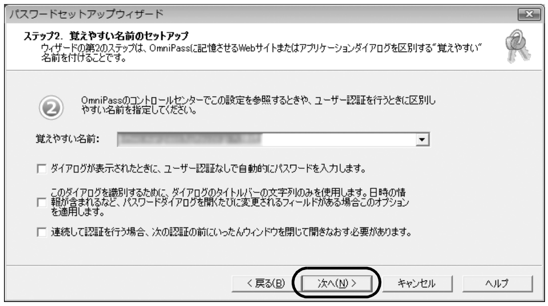


6 「このフィールドは正常に設定されました。...」というメッセージウィンドウが表示されます。

■ 続いてパスワードなどの情報を設定する場合は
「はい」をクリックして手順 4 に戻り、同様に入力テキスト（パスワードなど）と入力フィールドの登録をします。

■ すべての情報の登録が完了したら
「いいえ」をクリックして手順 7 に進みます。

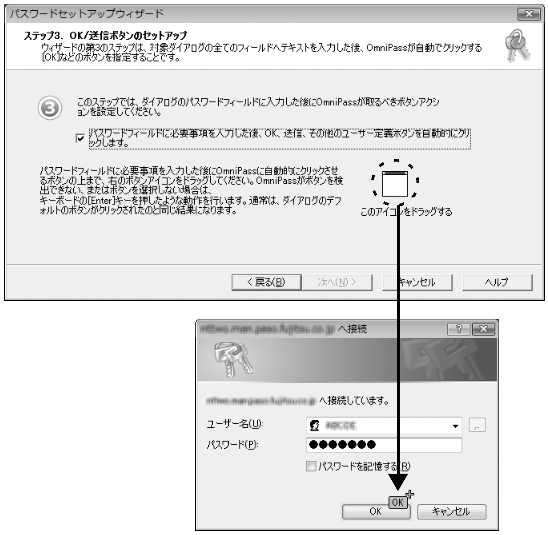
7 「覚えやすい名前」にログイン情報を区別するための名前を入力し、「次へ」をクリックします。



POINT

- 「ダイアログが表示されたときにユーザー認証なしで…」の左の☐を☑にすると、指紋認証をすることなくパスワードを登録したホームページにログインします。

8 「このアイコンをドラッグする」の OK を「パスワード入力」ウィンドウの「OK」ボタンや「ログイン」ボタンまでドラッグし、青枠が表示されたら左ボタンを離します。



9 「次へ」をクリックします。

10 「パスワードダイアログをテストします」をクリックします。
設定したパスワードなどが認証画面の入力欄に自動的に入力され、正しく入力されたか確認するメッセージが表示されます。

11 自動入力された内容が正しければ「はい」をクリックします。
もし正しくなければ「いいえ」をクリックし、もう一度手順 4 からやり直します。

12 「完了」をクリックします。

ログイン情報が登録されました。

■ホームページのログイン情報を管理する

指紋認証を使ってホームページにログインするための情報は、次の画面で管理することができます。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass コントロールセンター」の順にクリックします。

「OmniPass コントロールセンター」ウィンドウが表示されます。

2 「パスワードの管理」をクリックします。



「パスワードの管理 アクセスの認証」ウィンドウが表示されます。

3 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。

指紋の認証が成功すると、「パスワードの管理」ウィンドウが表示されます。

4 「パスワードダイアログ」にログイン情報が表示されます。

ログイン情報を変更するには、ログイン情報の再登録が必要となります。変更したいログイン情報名を選択して「ページの削除」をクリックし、ログイン情報を削除した後に再登録してください。

指紋認証でホームページにログインする

指紋認証を使うと、指紋センサーに指をスライドさせるだけで、セキュリティの設定がされているホームページにログインすることができます。

1 ID（ユーザー名）やパスワードなどのログイン情報が登録されているホームページを表示させます。

「アクセスの認証」ウィンドウが表示されます。

2 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。

指紋の認証が成功すると、自動的にホームページにログインします。

POINT

▶ 指紋認証によるホームページへのログインを一時的に無効にする

一度ホームページにログインした後でも、すべてのページにパスワードの入力欄が表示されているような場合に、OmniPass の「アクセスの認証」ウィンドウが何度も表示されることがあります。

このような場合は、以下の手順で OmniPass のログイン機能の動作を変更できます。

・指紋認証によるホームページへのログイン機能を無効にする

1. 画面右下の通知領域にある OmniPass アイコンを右クリックします。
2. 表示されるメニューから「パスワード置換を無効にする」をクリックします。

   パスワード入力欄のあるページをOmniPassが検出しなくなります。ログイン情報の登録や指紋認証によるログインはできません。

・指紋認証によるホームページへのログイン機能を有効にする

1. 画面右下の通知領域にある OmniPass アイコンを右クリックします。
2. 表示されるメニューから「パスワード置換を有効にする」をクリックします。

登録情報を変更する

■指紋認証の登録情報の構成

登録情報は、次のような構成で設定されています。

指紋認証を使うためには、ご利用になる方の指紋をあらかじめ登録しておく必要があります。本パソコンに指紋を登録する方法については、「指紋を登録する」（→ P.21）をご覧ください。

●ユーザー名

指紋を登録したユーザーの名前です。Windows のユーザー名と同じ名前が使用されます。

●ドメイン

通常は、パソコンのフルコンピュータ名が表示されます。

●指紋

指紋が登録されています。

●パスワード

指紋を登録したユーザーのパスワードです。Windows にログオンするときと同じパスワードが使用されます。

●各ホームページのログイン情報
ID（ユーザー名）やパスワードの入力を必要とするホームページを、指紋を認証させるだけで閲覧を可能にするために、あらかじめ ID（ユーザー名）やパスワードを登録しておきます。

■登録情報を変更する

ここでは、指紋認証を使うために登録した情報を変更する方法について説明します。

●ユーザー名
ユーザー名は変更できません。Windows のユーザー名と同じ名前が使用されます。

重 要

- **指紋認証を使用するよう登録した Windows のユーザー名は、変更しないでください。**

●パスワード
Windowsにログオンするときのパスワードを変更した場合は、指紋認証の登録情報に設定されているパスワードも、変更後のWindowsのパスワードと同じものに変更する必要があります。Windows のパスワードを変更した後、Windows へのログオンやホームページへのログインのために初めて指紋認証を行った時に、警告メッセージが表示されるので、変更後のパスワードを登録してください。

●指紋
指紋の登録を 10 本まで追加することができます。また、すでに登録済みの指紋を登録しなおすこともできます。ただし、登録済みの指紋を削除するには、指紋認証の登録情報をすべて削除し、再登録を行う必要があります。

●ホームページのログイン情報
ホームページのログイン情報を変更する場合は、登録済みのログイン情報を削除し、再登録が必要になります。この場合は指紋認証の登録情報を削除する必要はありません。

■指紋認証の登録情報を削除する

ユーザーの登録情報を削除するには、そのユーザーで OmniPass にログオンしている必要があります。

POINT

- **削除する前にユーザー情報をバックアップしておくと、ユーザーを復活させる必要が生じた際に簡単に復活させることができます。**
  「登録情報を保存する」（→ P.29）

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass コントロールセンター」の順にクリックします。
「OmniPass コントロールセンター」ウィンドウが表示されます。

2 「登録ウィザードの実行」をクリックします。

3 「OmniPass からユーザーを削除」をクリックします。
「ユーザー削除の認証」ウィンドウが表示されます。

4 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。
指紋の認証が成功すると、「ユーザー削除の確認」ウィンドウが表示されます。

5 「OK」をクリックします。
「ユーザーは正常に削除されました」というメッセージが表示されます。

6 「OK」をクリックします。

指紋認証の登録情報が削除されました。「指紋認証の情報を登録する」をご覧になり、指紋認証情報の再登録を行ってください。

■指紋認証の情報を登録する

指紋認証情報の登録方法については、「指紋を登録する」（→ P.21）をご覧ください。

■指紋を追加登録する

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass コントロールセンター」の順にクリックします。
「OmniPass コントロールセンター」ウィンドウが表示されます。

2 「登録ウィザードの実行」をクリックします。
登録ウィザードメニューが表示されます。

3 「ユーザーの認証デバイスの登録変更」をクリックします。



「認証デバイスの登録変更の認証」ウィンドウが表示されます。
「指紋を登録する」（→ P.21）の手順 4 ～ 7 をご覧になり、新しい指紋を登録してください。

登録情報の保存／読み込み

ユーザー名やパスワード、指紋やホームページのログイン情報など、一度登録した情報を、まとめて保存しておくことができます。登録情報を誤って削除してしまったときなどのバックアップのために、登録情報の保存をお勧めします。

■登録情報を保存する

指紋認証の登録情報を保存するには、そのユーザーでOmniPass にログオンしている必要があります。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass コントロールセンター」の順にクリックします。
 「OmniPass コントロールセンター」ウィンドウが表示されます。
2 「登録ウィザードの実行」をクリックします。
3 「OmniPass ユーザー情報のバックアップ」をクリックします。
 「プロファイルのバックアップの認証」ウィンドウが表示されます。
4 登録してある指紋で認証させます。
 指紋の認証に成功すると、「ユーザープロファイルのバックアップを名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。
5 バックアップファイルの名前と保存場所を指定し、「保存」をクリックします。
 「バックアップファイルのパスワード」ウィンドウが表示されます。
6 バックアップファイルに設定するパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
 「OmniPass- プロファイルのバックアップ成功」メッセージが表示されます。

POINT

- パスワードを設定しなくても保存することができます。その場合は、「パスワード」は空欄のまま「OK」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

以上で登録情報のバックアップが完了しました。

重 要

- バックアップファイルに設定したパスワードは、忘れないようにしてください。バックアップファイルを使用してユーザー登録情報を復元するときに、このパスワードが必要になります。

■登録情報を読み込む

バックアップしたユーザーの登録情報を読み込むには、そのユーザー情報の読み込み先となるWindowsのユーザーが必要です。

この Windows のユーザーは、まだ OmniPass に登録されていないユーザーである必要があります。OmniPass に登録済みのWindows ユーザーに重複してユーザー登録情報を読み込むことはできません。

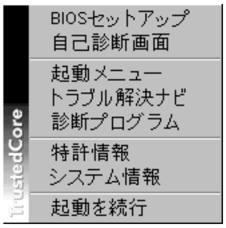
1 OmniPass に登録されていないユーザーで、Windows にログオンします。
2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 登録ウィザード」の順にクリックします。
3 「既存の Windows ユーザーの登録」をクリックします。
 「OmniPass への登録」ウィンドウが表示されます。
4 「バックアップしたユーザー情報からユーザーを復元します」の□をクリックして☑にし、「次へ」をクリックします。
 「復元するユーザープロファイルを開く」ウィンドウが表示されます。
5 保存してある登録情報を選択し、「開く」をクリックします。
 「バックアップファイルのパスワード」ウィンドウが表示されます。
6 バックアップ時に設定したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
 「ユーザープロファイルの復元」ウィンドウが表示されます。
7 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「次へ」をクリックします。
 「ユーザー名」と「パスワード」には、読み込み先となるユーザーの Windows ユーザー名とログオンパスワードを入力してください。
 「OmniPass はユーザーの復元処理を完了しました。」というメッセージが表示されます。
8 「OK」をクリックします。
9 パソコンを再起動します。
 パソコンを再起動することにより、読み込んだ登録情報が有効になります。

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS セットアップの設定値を、本パソコンご購入時の状態に戻す方法について説明します。

1 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【Enter】キーを押します。

ポップアップメニューが表示されます。



POINT

- ポップアップメニューが表示されない場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。再起動については、「電源の切り方」（→ P.19）をご覧ください。

2 【Fn】+【↓】または【Fn】+【↑】キーを押して「BIOS セットアップ」を選択し、【Enter】キーを押します。

BIOS セットアップが起動します。

3 「終了」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行した後、設定を保存して BIOS セットアップを終了します。

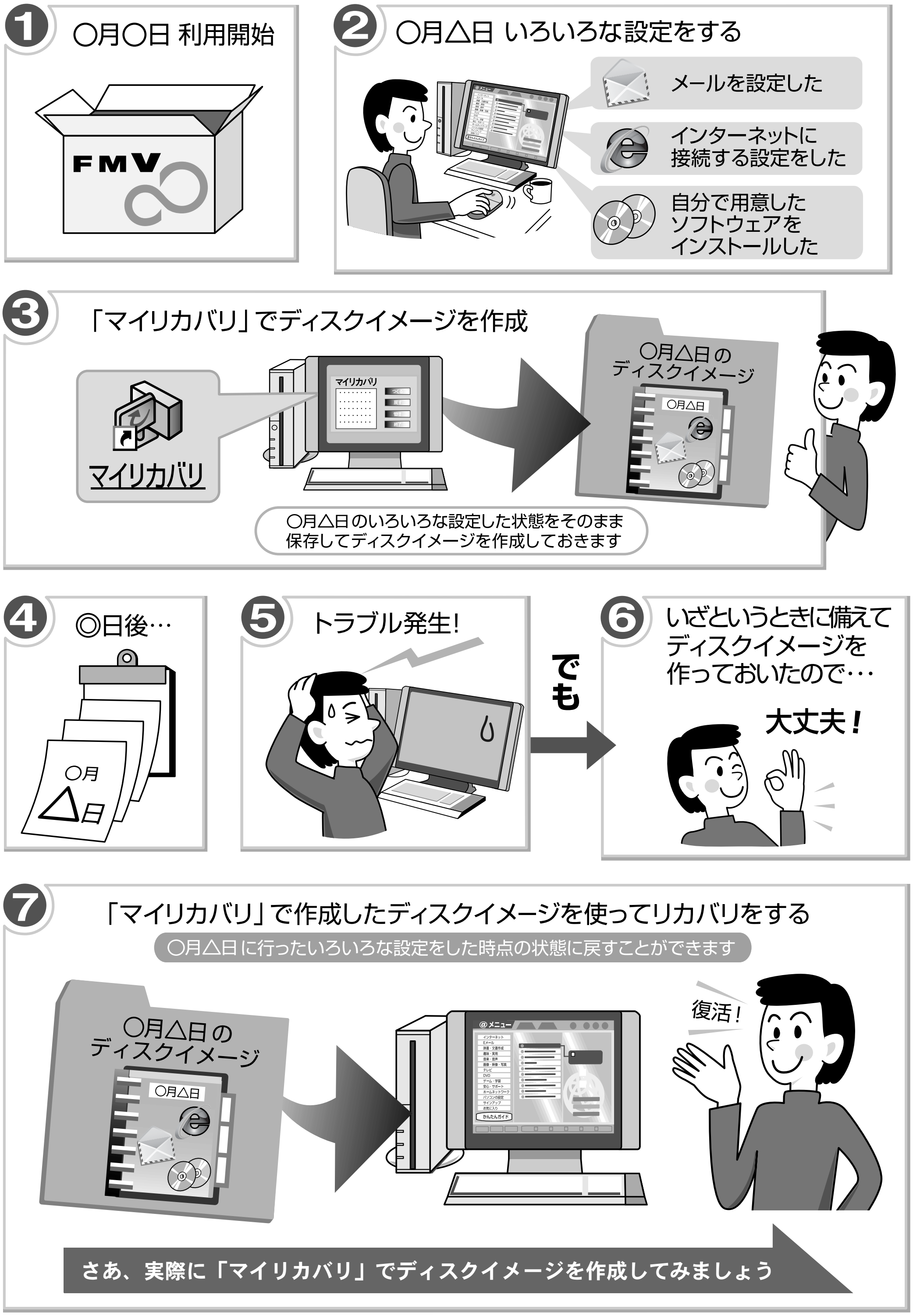
重 要

- 「標準設定値を読み込む」を実行しても、管理者用パスワード、ユーザー用パスワード、ハードディスクパスワード、所有者情報の設定は、現在お使いの状態のまま変更されません。

マイリカバリについて

マイリカバリとは

「マイリカバリ」を使ったリカバリについて、簡単に説明します。



「マイリカバリ」でできること

「マイリカバリ」は、ハードディスク（C ドライブのみ）をまるごとディスクイメージとして保存しておき、必要なときにディスクイメージを保存したときと同じ状態に戻すことのできるソフトウェアです。
「マイリカバリ」を使ったリカバリを行うにはどのような作業が必要か、簡単に説明します。

■ディスクイメージを作成する

ディスクイメージとは、ハードディスクに格納されたあらゆる情報のコピーが保存されているファイルです。
「マイリカバリ」では、C ドライブのデータをまるごとディスクイメージとして外付けハードディスクやネットワーク上のドライブなどに保存します。C ドライブをまるごと外付けハードディスクやネットワーク上のドライブなどにバックアップしておくようなものと考えればよいでしょう。

■ディスクイメージを復元する

ディスクイメージを復元して、C ドライブを前の状態に戻すことを、「マイリカバリ」を使ったリカバリをするとも言います。
ディスクイメージを使ったリカバリを行うと、C ドライブが、ディスクイメージを保存したときと同じ状態に戻ります。

■こんなときに便利です

万一、何らかの不具合が生じてパソコンの調子がおかしくなったときに、パソコンの調子が良かったときの状態をそのまま保存したディスクイメージが作ってあれば安心です。
ディスクイメージが作ってあれば、「マイリカバリ」を使って、簡単な操作でパソコンを調子の良かったときの状態に戻すことができます。
ただし、パソコンをご購入されたときの状態では、ディスクイメージはまだ作成されていません。
セットアップやセキュリティ対策などの設定をひととおり終えた後は、「マイリカバリ」でディスクイメージを作って保存しておくことをお勧めします。C ドライブのバックアップとして、定期的にディスクイメージを作成しておくのもお勧めです。

「マイリカバリ」の使い方〜ディスクイメージを作成する

いざというときに備えて、C ドライブのディスクイメージを作成しておくと安心です。
ここでは、「マイリカバリ」でディスクイメージを作成する方法を説明します。

■ディスクイメージを作成する

重 要

- **パソコンに不具合が起こっているときは、ディスクイメージを作成しないでください**
  ディスクイメージを作成すると、パソコンの C ドライブをそのままの状態で保存するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。
  パソコンに不具合が起こっているときはディスクイメージを作成しないでください。
- **保存先を外付けハードディスクにする場合は、USB 接続の外付けハードディスクを用意してください。**
  ここでは、まだ接続はしないでください。接続している場合は、必ず取り外してください。「マイリカバリ」が起動しないことがあります。
  「マイリカバリ」起動後、外付けディスクを接続してくださいと表示されたら、接続してください。
  外付けハードディスクの接続情報については、サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「他社周辺機器接続情報」をご覧ください。
- **このパソコンでメディアタンクをお使いの場合、「メディアタンクメニュー」の「マイリカバリ」機能は使用できません。**
  メディアタンクに保存する場合は、このマニュアルの手順に従って操作し、メディアタンクをネットワーク上のドライブとしてお使いください。
- **保存先を別のパソコンなどネットワーク上のドライブにする場合**
  次の点にご注意ください。
  - ・ネットワークの知識が必要です。
  - ・あらかじめネットワークに接続した環境で操作を始めてください。
  - ・別のパソコンとの接続には、クロスケーブルをお使いになることを強くお勧めします。
  - ・ディスクイメージ作成中は、すべてのパソコンのログオンパスワードを「無効」にしてください。「ネットワークと共有センター」の「パスワード保護共有」で設定を変更できます。
  - ・ディスクイメージ作成中は、すべてのパソコンのセキュリティ対策ソフトを無効にしてください。ディスクイメージ作成後、セキュリティ対策ソフトを有効に戻してください。

1 **デスクトップの（マイリカバリ）をクリックします。**
  「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。
2 **「閉じる」をクリックします。**
  「マイリカバリ」が表示されます。
3 **「つくる」をクリックします。**

4 コメント入力域に、作成するディスクイメージに付けるコメントを入力し、「次へ」をクリックします。

5 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。

「ディスクイメージの作成」という画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

6 次の操作をします。

■ 保存先を外付けハードディスクにする場合

1. パソコンの USB コネクタに外付けハードディスクを接続し、「保存先選択」をクリックします。
2. 保存先のドライブを選択し、「次へ」をクリックします。

■ 保存先をネットワーク上のドライブにする場合

1. 「保存先選択」をクリックします。
2. 「ネットワークの割り当て」をクリックします。
3. ドライブとフォルダを選択し、「OK」をクリックします。

   ユーザー名とパスワードを確認する画面が表示されたら、ユーザー名が「（ネットワーク上のコンピュータ名）¥guest」になっていることを確認し、パスワードには何も入力しないで、「OK」をクリックします。

POINT

- 「D ドライブにつくる」は選択しないでください。本パソコンのハードディスク容量では、D ドライブに保存できません。

7 「これからディスクイメージをつくります。」という画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

8 「実行」をクリックします。

9 ディスクイメージを作成し始めます。しばらくお待ちください。

POINT

- 終了までの時間表示が増えることがあります。
  これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。約30%終了するまでは、残り時間が正確に表示されない場合がありますのでご了承ください。

10 「ディスクイメージを作成しました。」と表示されたら、「完了」をクリックします。

パソコンが再起動します。

これで、「マイリカバリ」により、ディスクイメージが指定したドライブに作成されました。

「マイリカバリ」の使い方～ディスクイメージを復元する

「マイリカバリ」であらかじめ作成しておいたディスクイメージを、復元する方法を説明します。

重 要

- ディスクイメージを作成した後に保存したファイルは失われます
  ディスクイメージを復元すると、C ドライブが、ディスクイメージを作成した時点の状態に戻ります。よって、ディスクイメージを作成した後に C ドライブに保存したファイルは、すべて失われます。ディスクイメージを作成した後に保存したデータは、D ドライブや CD/DVD などの別の媒体にバックアップをしてください。
- 外付けハードディスクに保存したディスクイメージを復元する場合は、USB 接続の外付けハードディスクを用意してください。ここでは、まだ接続はしないでください。
  接続している場合は、必ず取り外してください。「マイリカバリ」が起動しないことがあります。
  「マイリカバリ」起動後、外付けディスクを接続してくださいと表示されたら、接続してください。
  外付けハードディスクの接続情報については、サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「他社周辺機器接続情報」をご覧ください。
- ネットワーク上のドライブに保存したディスクイメージを復元する場合
  次の点にご注意ください。
  ・ネットワークの知識が必要です。
  ・あらかじめネットワークに接続した環境で操作を始めてください。
  ・別のパソコンとの接続には、クロスケーブルをお使いになることを強くお勧めします。
  ・ディスクイメージ復元中は、すべてのパソコンのログオンパスワードを「無効」にしてください。「ネットワークと共有センター」の「パスワード保護共有」で設定を変更できます。
  ・ディスクイメージ復元中は、すべてのパソコンのセキュリティ対策ソフトを無効にしてください。ディスクイメージ復元後、セキュリティ対策ソフトを有効に戻してください。

1 本パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 本パソコンの電源を入れ、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【Enter】キーを押します。

3 【Fn】+【↓】キーを押して、「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】キーを押します。

4「システム回復オプション」ウィンドウで「日本語」を選択し、「次へ」をクリックします。

5「Microsoft Windows Vista」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

6「OK」をクリックします。

お使いのパソコンで設定しているユーザー名を選択してください。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してから「OK」をクリックしてください。

7「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「トラブル解決ナビ」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

8「リカバリ」タブをクリックし、「マイリカバリで戻す」をクリックして、「実行」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

POINT

- Windows が起動している状態から「マイリカバリ」を始めることもできます
  1. デスクトップの（マイリカバリ）をクリックします。
     「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。
  2. 「閉じる」をクリックします。
     「マイリカバリ」が表示されます。
  3. 「もどす」をクリックします。
  4. 「OK」をクリックします。
     パソコンが再起動し、「ご使用上の注意」が表示されます。
  5. 手順 9（→ P.34）に進みます。

9 画面に表示された「ご使用上の注意」に同意していただいた場合は、「同意する」をクリックして、「次へ」をクリックします。

10「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを選択します。

外付けハードディスクに保存したディスクイメージから復元する場合は、外付けハードディスクを接続します。

■ 外付けハードディスクに保存されている最新のディスクイメージを使って復元する場合

「最新のディスクイメージで戻す」をクリックします。

■ 外付けハードディスクに保存されている最新以外のディスクイメージを使って復元する場合

1. 「ディスクイメージを選ぶ」をクリックします。
2. 表示されたリストからディスクイメージを選択し、「決定」をクリックします。

■ ネットワーク上のドライブに保存したディスクイメージを使って復元する場合

1. 「ディスクイメージを選ぶ」をクリックします。
2. 「ネットワーク」をクリックします。
   ユーザー名とパスワードを確認する画面が表示されたら、ユーザー名が「（ネットワーク上のコンピュータ名）¥guest」になっていることを確認し、パスワードには何も入力しないで、「OK」をクリックします。
3. 表示されたリストからディスクイメージを選択し、「決定」をクリックします。

11「次へ」をクリックします。

12「実行」をクリックします。

ディスクイメージを使ったリカバリが始まります。

13 そのまましばらくお待ちください。

POINT

- 終了までの時間表示が増えることがあります。
  これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。約30%終了するまでは、残り時間が正確に表示されない場合がありますのでご了承ください。

14「復元が完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。

これで、「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを使ったリカバリが完了しました。

リカバリについて

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、またはハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリを行います。

リカバリの概要と注意事項

リカバリとは、「リカバリ & ユーティリティディスク」、「アプリケーションディスク 1」、「アプリケーションディスク 2」を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態に戻す操作です。

注意事項

- リカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて失われます。必要に応じて事前にバックアップしておいてください。
- リカバリ時には、必ず AC アダプタを接続してください。
- 周辺機器を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- リカバリを終えてセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- リカバリには時間がかかります。時間に余裕を持って、操作を実行してください。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の準備をしてください。

■CD/DVD ドライブを接続する

富士通 WEB MART でご購入時に CD/DVD ドライブを選択した方は、「スーパーマルチドライブユニット」または「DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット」を接続してください。
上記以外の方は、別途外付けの CD/DVD ドライブを用意してください。

POINT

- 次のポータブル CD/DVD ドライブのご購入をお勧めいたします。
  - ・ポータブル CD-RW/DVD-ROM ドライブ
    - 品名：DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット
    - 型名：FMV-NCB53（Fujitsu）
  - ・ポータブルスーパーマルチドライブ
    - 品名：スーパーマルチドライブユニット
    - 型名：FMV-NSM52（Fujitsu）

  他社製品をご購入の場合は、サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「他社周辺機器接続情報」をご覧ください。

■「リカバリ＆ユーティリティディスク」、「アプリケーションディスク 1」、「アプリケーションディスク 2」を用意する

■BIOS 設定について

BIOS の設定をご購入時の状態に戻します（→ P.30）。

POINT

- BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、エラーメッセージが表示されることがあります。

リカバリ方法

■リカバリの実行

1 本パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 本パソコンの電源を入れ、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【Enter】キーを押します。

ポップアップメニューが表示されます。

POINT

- ポップアップメニューが表示されない場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Fn】+【BS】キーを押して本パソコンを再起動し、もう一度操作してください。

3 【Fn】+【↑】または【Fn】+【↓】キーを押して「起動メニュー」を選択し、【Enter】キーを押します。

起動メニューが表示されます。

4 「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットします。

5 【Fn】+【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。

そのまましばらくお待ちください。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

6 「トラブル解決ナビ」が表示されたら、「リカバリ」タブをクリックし、「リカバリの実行」をクリックして、「実行」をクリックします。

7 「マイリカバリをお使いではありませんか？」と表示されたら、マイリカバリで戻す場合は、「キャンセル」をクリックします。このままリカバリを続ける場合は、「実行」をクリックします。

「復元を始める前に、必ず以下をよくお読みください。」の画面が表示されます。

8 をクリックして内容をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

9 リカバリについて説明する画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

10 「リカバリを実行」をクリックします。

リカバリが始まります。

11 そのまましばらくお待ちください。

12 現在セットされているディスクを取り出し、「アプリケーションディスク 2」をセットして、「OK」をクリックします。

このあとは、表示されるメッセージに従ってください。

■追補 1　Office Personal 2007 をご購入時と同じ設定にする（LOOX U50XN、U50XNX でご購入時に「Office Personal 2007」を選択した方）

1 「Microsoft　Office・・・をインストールします」と表示されたら、現在セットされているディスクを取り出し、「Office Personal 2007 の CD-ROM」をセットして、「はい」をクリックします。

2 プロダクトキーを入力する画面が表示されるので、「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックします。

3 「マイクロソフト　ソフトウェア　ライセンス条項をお読みください」と表示されたら、内容をよく読み、「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」をクリックして にして、「次へ」をクリックします。

4 「今すぐインストール」をクリックします。

5 インストール終了のメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックします。

6 表示される画面に従って、「Microsoft® Office ナビ 2007」をインストールします。

7 表示される画面に従って、「Office 2007 IME 修正プログラム」をインストールします。

8 表示される画面に従って、デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻します。

このあとは、表示されるメッセージに従ってください。

■追補 2　「Microsoft IME」を設定する（LOOX U50XN、U50XNX でご購入時に「Office Personal 2007」を選択した方）

1 「Microsoft IME」の言語バーで、（ツール）を右クリックし、「設定」をクリックします。

「テキストサービスと入力言語」ウィンドウが表示されます。

2 「全般」タブで、「追加」をクリックします。

「入力言語の追加」ウィンドウが表示されます。

3 スクロールバーを一番下までスクロールし、「Microsoft IME」の をクリックして にして、「OK」をクリックします。

「テキストサービスと入力言語」ウィンドウに戻ります。

4 「インストールされているサービス」に「Microsoft IME」が追加されていることを確認し、「既定の言語」で「日本語（日本）- Microsoft IME」を選択します。

5 「OK」をクリックします。

以上でリカバリ操作は終了です。

お客様が実行したセキュリティ対策や各種設定内容は、実行前の状態に戻っています。セットアップ後、「Windows Update」などのセキュリティ対策を行ってください。また、必要に応じて、ドライバやソフトウェアのインストールや設定などを行ってください。

マニュアルのダウンロード

ホームページから電子マニュアルをダウンロードできます。サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「ダウンロード」から機種を選択し、「富士通 FMV マニュアル」をダウンロードしてください。

リサイクルについて

■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」をご利用ください。

詳しくは、「富士通パソコンリサイクル受付センター」のホームページ（http://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

●法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

■使用済みバッテリの取り扱いについて

- リチウムイオン電池のバッテリパック、バッテリユニットは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- 使用済みバッテリは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- バッテリを火中に投じると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

バッテリの仕様については、「仕様一覧」（→P.38）、またはバッテリの取扱説明書をご覧ください。

●個人のお客様へ

使用済みバッテリは廃棄せずに、充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクルBOXに入れてください。詳しくは、有限責任中間法人 JBRC のホームページ（http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html）をご覧ください。

弊社は有限責任中間法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

Li-ion

●法人・企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、弊社ホームページ「IT製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

3. 仕様一覧

本体仕様

<table>
<tr><th colspan="3">製品名称</th><th>FMV-BIBLO LOOX U50X/V</th><th>FMV-BIBLO LOOX U50XN</th><th>FMV-BIBLO LOOX U50XNX</th></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">CPU[注1]</td><td colspan="3">インテル® プロセッサー A110[注2]</td></tr>
<tr><td colspan="3">800MHz</td></tr>
<tr><td colspan="3">キャッシュメモリ</td><td colspan="3">1次：32KB命令＋32KBデータ　2次：512KB（CPU内蔵）</td></tr>
<tr><td colspan="3">チップセット</td><td colspan="3">モバイル インテル® 945GU Express チップセット</td></tr>
<tr><td colspan="3">システムバスクロック</td><td colspan="3">400MHz</td></tr>
<tr><td colspan="3">メインメモリ</td><td colspan="3">標準 1GB（PC2-3200 SDRAM オンボード）ECC なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">表示機能</td><td colspan="2">グラフィックアクセラレータ</td><td colspan="3">チップセットに内蔵</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオメモリ</td><td colspan="3">最大 224MB（メインメモリと共用）[注3]</td></tr>
<tr><td colspan="2">液晶ディスプレイ[注4]</td><td colspan="3">LEDバックライト付5.6型ワイドタッチパネル式TFTカラー LCD1024×600ドット
（スーパーファイン液晶）</td></tr>
<tr><td colspan="2">解像度／発色数[注5]</td><td colspan="3">液晶ディスプレイ表示：1024 × 600 ドット／ 1677 万色、
外部ディスプレイ表示：最大 1280 × 1024 ドット／最大 1677 万色、</td></tr>
<tr><td colspan="3">ハードディスクドライブ[注6]</td><td colspan="3">40GB（Ultra ATA100）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">オーディオ機能</td><td colspan="2">オーディオコントローラ</td><td colspan="3">チップセット内蔵＋ High Definition Audio コーデック</td></tr>
<tr><td colspan="2">PCM 録音再生機能</td><td colspan="3">サンプリング周波数、最大 192kHz、24 ビット（再生時）[注8]、
サンプリング周波数、最大 48kHz、16 ビット（録音時）[注8]、
同時録音再生機能</td></tr>
<tr><td colspan="2">MIDI 再生機能</td><td colspan="3">OS 標準機能にてサポート</td></tr>
<tr><td colspan="2">スピーカー</td><td colspan="3">モノラルスピーカー内蔵</td></tr>
<tr><td colspan="2">マイク</td><td colspan="3">シングルマイク内蔵</td></tr>
<tr><td colspan="3">キーボード</td><td colspan="3">キーピッチ約 14mm、キーストローク約 1.3mm、56 キー
（かな表記なし）</td></tr>
<tr><td colspan="3">ポインティングデバイス</td><td colspan="3">スティックポイント、クリックボタン</td></tr>
<tr><td colspan="3">タブレットボタン</td><td colspan="3">× 7（プログラマブル× 2）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">通信機能</td><td colspan="2">LAN</td><td colspan="3">100BASE-TX/10BASE-T 準拠</td></tr>
<tr><td rowspan="2">無線 LAN[注7]</td><td>規格</td><td colspan="3">IEEE 802.11a（J52/W52/W53）準拠、IEEE 802.11b 準拠、
IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）[注9]</td></tr>
<tr><td>内蔵アンテナ</td><td colspan="3">ダイバーシティ方式</td></tr>
<tr><td colspan="2">無線 WAN</td><td colspan="2">－</td><td>あり</td></tr>
<tr><td colspan="3">ワンセグチューナー</td><td>受信チャンネル：
000 ～ 999ch</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td colspan="3">指紋センサー</td><td colspan="3">スライド方式</td></tr>
<tr><td rowspan="12">インターフェース</td><td rowspan="7">本体</td><td>SD メモリーカード[注10]</td><td colspan="3">1 スロット</td></tr>
<tr><td>コンパクトフラッシュカード</td><td colspan="3">CF+and CompactFlash Specification Revision1.4 準拠
TYPE I / TYPE II × 1 スロット</td></tr>
<tr><td>USB[注11]</td><td colspan="3">USB2.0 準拠× 1（右側面× 1）</td></tr>
<tr><td>CRT/LAN 変換コネクタ</td><td colspan="3">専用コネクタ× 1</td></tr>
<tr><td>オーディオ</td><td colspan="3">マイク[注13]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック
（入力：100mV 以下、入力インピーダンス (AC)1.5kΩ 以上 /(DC)2.0kΩ 以上）、
ヘッドホン[注12]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック
（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）</td></tr>
<tr><td>ポートリプリケータ</td><td colspan="3">専用コネクタ× 1</td></tr>
<tr><td>状態表示</td><td colspan="3">LED</td></tr>
<tr><td rowspan="2">変換ケーブル（LAN/CRT）</td><td>外部ディスプレイ</td><td colspan="3">アナログ RGB ミニ D-SUB15 ピン× 1</td></tr>
<tr><td>LAN</td><td colspan="3">RJ-45 × 1</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ポートリプリケータ[注14]</td><td>外部ディスプレイ</td><td rowspan="3">－</td><td colspan="2">アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1</td></tr>
<tr><td>USB[注11]</td><td colspan="2">USB2.0 準拠 × 4</td></tr>
<tr><td>LAN</td><td colspan="2">RJ-45 × 1</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">電源供給方式</td><td>AC アダプタ</td><td colspan="3">入力 AC100 ～ 240V、出力 16V（2.5A）</td></tr>
<tr><td>バッテリ★</td><td>内蔵バッテリパック：
リチウムイオン 7.2V ／
2600mAh</td><td colspan="2">内蔵バッテリパック：リチウムイオン 7.2V ／ 2600mAh
内蔵バッテリパック (L)：リチウムイオン 7.2V ／ 5200mAh</td></tr>
</table>

製品名称		FMV-BIBLO LOOX U50X/V	FMV-BIBLO LOOX U50XN	FMV-BIBLO LOOX U50XNX
バッテリ稼働時間（JEITA 測定法 1.0）[注15]★	内蔵バッテリパック	約 3.8 時間		約 3.5 時間
	内蔵バッテリパック（L）	ー	約 7.7 時間	約 7.2 時間
バッテリ充電時間[注16]★	内蔵バッテリパック	約 2.5 時間		
	内蔵バッテリパック（L）	ー	約 4.0 時間	
消費電力[注17]		約 9W ／約 40W		
省エネ法に基づくエネルギー消費効率[注18]		l 区分 0.0017(A)[注19、注20]		
外形寸法（突起部含まず）★	内蔵バッテリパック	W171 × D133 × H26.5 ～ 32.0mm		W185 × D133 × H27.0 ～ 32.0mm
	内蔵バッテリパック（L）	ー	W171 × D154 × H26.5 ～ 32.0mm	W185 × D154 × H27.0 ～ 32.0mm
質量		約 599g		約 630g
温湿度条件		温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、 温度－ 10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）		
プレインストール OS		Windows Vista Home Premium（DirectX 10.0c 対応）		
サポート OS[注21]		Windows Vista Home Premium		

★ LOOX U50XN、U50XNX の場合、ご購入時に選択したものをご覧ください。
本パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

注について

注 1 ： ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なる場合があります。

注 2 ： エグゼキュート・ディスエーブル・ビット機能に対応しています。

注 3 ： 使用するビデオメモリ容量の最大値は、BIOS セットアップで変更できます。
Intel® Dynamic Video Memory Technology（DVMT）により、パソコンの動作状態によってビデオメモリ容量が BIOS セットアップで設定した最大値まで変化します。

注 4 ： 以下は液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。
- 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。

注 5 ：
- グラフィックアクセラレータが出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表示されます。
- 外部ディスプレイに出力する場合は、お使いの外部ディスプレイがこの解像度をサポートしている必要があります。

注 6 ： 容量は、1MB ＝ 1000^2byte、1GB ＝ 1000^3byte 換算値です。

注 7 ： LOOX U50XN は、カスタムメイドで選択した場合。

注 8 ： 使用できるサンプリングレートは、ソフトウェアによって異なります。

注 9 ： Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示しています。

注 10：
- すべての SD メモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 著作権保護機能には対応していません。
- マルチメディアカード（MMC）やセキュアマルチメディアカード、SDIO カードには対応していません。
- miniSD メモリーカード、microSD カードをお使いの場合は、アダプタが必要になります。必ずアダプタにセットしてからお使いください。そのまま挿入すると、miniSD カード、microSD カードが取り出せなくなることがあります。

注 11：
- すべての USB 規格対応の周辺機器について、動作保証するものではありません。
- 外部から電源を取らない USB 機器を接続するときの消費電流の最大容量は、1 ポートにつき 500mA です。詳しくは USB 機器のマニュアルをご覧ください。

注 12： OS 上で設定を変更することにより、ラインアウト端子として使用することもできます。ラインアウト端子として使用する場合には、次の仕様となります。
（出力：1Vrms 以上、負荷インピーダンス 10kΩ）

注 13： OS 上で設定を変更することにより、ラインイン端子として使用することもできます。ラインイン端子として使用する場合には、次の仕様となります。
（入力：1Vrms 以下、入力インピーダンス 10kΩ）

注 14： カスタムメイドで選択した場合。

注 15： 社団法人電子情報技術産業協会の「JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver1.0）」（http://it.jeita.or.jp/mobile/index.html）。なお、本体のみ、省電力制御あり、満充電の場合。ただし、実際の稼働時間は使用条件により異なります。

注 16： 電源 OFF またはスリープ時。装置の動作状況により充電時間が長くなることがあります。

注 17：
- 動作時の最小消費電力（Windows 起動直後の消費電力）／最大消費電力です。
また AC アダプタ運用時の消費電力です。
- 電源 OFF 時の消費電力は約 1W 以下（満充電時）です。
なお、電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。

注 18： エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

注 19： カッコ内のアルファベットは「A は 100%以上 200%未満、AA は 200%以上 500%未満、AAA は 500%以上」の省エネ達成率であることを示します。

注 20： 2007 年度基準で表示しています。

注 21： プレインストール OS のみサポートします。

Memo

Memo

お問い合わせ先について

■お問い合わせ先

次の連絡先へお問い合わせください。

こんなときには	こちらへ
故障かなと思われたとき	『製品ガイド』（PDF）の「トラブルシューティング」をご覧ください。 それでも解決できない場合は、ご購入元にご相談いただくか、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。
添付のソフトウェアのお問い合わせ	『製品ガイド』（PDF）の「トラブルシューティング」をご覧ください。
技術的なご質問・ご相談	『製品ガイド』（PDF）をご覧ください。それでも不明な点がございましたら『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。
富士通サプライ品のご購入	富士通サプライ品のご購入については、**「富士通コワーコ株式会社」の「お客様総合センター」**までお問い合わせください。 < お問い合わせ先 > **フリーダイヤル** ：0120-505-279 **受付時間** ：9：00 〜 17：30 **（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）** URL ：http://jp.fujitsu.com/coworco/

FMV-BIBLO LOOX U50X/V, U50XN, U50XNX

取扱説明書
B5FJ-4931-02-00

発 行 日　2007 年 11 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

Printed in Japan

㋐0711-1

本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準(2007年度版)を満たしています。
詳細は、Webサイトhttp://www.pc3r.jp をご覧下さい。

PRINTED WITH SOY INK ™
Trademark of American Soybean Association
大豆インキで印刷しています。

このマニュアルは再生紙を使用し、リサイクルに配慮して製本されています。
不要になった際は、回収･リサイクルに出してください。

T4988618584005